

# 西之表市議会だより



## 目次

- P2 ……新年の挨拶
- P2 ……主な議案等
- P4 ……委員会審査報告
- P6 ……一般質問
- P9 ……議決結果一覧
- P10 ……所管事務調査報告
- P12 ……議会報告会
- P14 ……次回定例会予定

## 令和元年第4回定例会 会期日程

(11月28日~12月13日)

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| 11月28日  | 定例会開会           |
| 12月2・3日 | 一般質問            |
| 12月5日   | 総務文教委員会・産業厚生委員会 |
| 12月9日   | 予算特別委員会         |
| 12月11日  | 各特別委員会・議会運営委員会  |
| 12月13日  | 定例会閉会           |



新年の挨拶  
西之表市議会議長 永田 章

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。  
市民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は、全国各地において、台風や大雨による甚大な被害が発生し、その被害地は広範囲にわたり、家を失くし家族を失いながら頑張る姿に一日も早く元の生活に戻れることを願い、あらためて自然災害の恐ろしさを考えさせられた一年でもありました。私どもの生活する種子島も台風の常襲地帯です。大きな災害が発生しないことを願うものです。

さて、時代は平成から令和へと引き継がれました。「令和」という言葉には、人々が美しく心を寄せ合う中で、新しい文化、新しい時代を切り開いていくという思いが込められているとのことです。

「世は相持」この世の中は、自分だけでなく他人もいるからこそ、人に尽くしたり尽くされたり互いに助け合って暮らすことが大切であるということわざです。

市民の皆様と、膝を寄せ合い知恵を出し合い、安心して暮らせる幸福なまちづくりを目指したいものです。

市議会も四年任期の最後の一年となりました。これまでご指導、ご支援賜りました市民の皆様には感謝を申し上げますとともに、本市においてもすばらしい一年になりますようご祈念を申し上げます。新年の挨拶といたします。

副議長 小倉 初男  
議員 下川 和博

竹下 秀樹 木原 幸四

川村 孝則 和田 香穂里 河本 幸男

鮫島 市憲 中野 周 田添 辰郎

生田 直弘 橋口 好文 長野 広美

渡辺 道大 橋口 美幸

## 議案20件を可決・同意 陳情書1件は不採択

### 令和元年第4回定例会

11月28日から12月13日までの日程で、第4回定例会が開催された。

定例会において、条例改正や補正予算案、人事案件等全20議案を慎重に審査し、全議案原案のとおり可決・同意となった。

また、これまで2度にわたり継続審査となっていた陳情第14号「馬毛島への米軍空母艦載機離発着訓練（FCLP）及び自衛隊施設設置に関する防衛省による住民説明会の早期開催を求める」陳情書については、12月13日に開催された本会議で不採択となった。

（詳細は、P3に掲載）

### 人事案件

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員法（昭和24年法律第139号）第6条第3項の規定により、市長が議会の意見を聞き、野平道実氏を人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦するためのもので、原案のとおり全会一致で同意となった。 **同意**

### 人権擁護委員とは

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広めたりする活動をしている民間の方々です。人権擁護委員制度は、様々な分野の人たちが人権思想を広め、地域の中で人権が侵害されないように配慮して人権を擁護していくことが望ましいという考えから設けられたもので、諸外国に例を見ない制度として発足しました。人権擁護委員は無報酬ですが、現在、約1万

4千人が法務大臣から委嘱され、全国の各市町村に配置されて、積極的な人権擁護活動を行っています。

人権擁護委員は、皆さんの問題解決のお手伝いをします。

○問題解決のための職務を行うに当たっては、関係者の秘密を守ります。

○任期は3年です。さらに再任も可能です。

### 追加議案

西之表市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について

理学療法士免許申請事務に係る不適切な事務処理により、市民の行政に対する不信を招いたことを重く受けとめ、市長及び副市長の給料を減額するため、条例を制定しようとするもの。給料特例の内容は、令和2年1月1日から同年3月31日までの間、給料の10%を減額しようとするもの。 **可決**

※この理学療法士免許申請事務に係る不適切な事務処理により、当該免許の登録遅延が発生した件については、事案の重大性に鑑み、産業厚生委員会では、2度にわたり調査を実施した。調査の中では、事案が発生した経緯、問題点について市長・副市長・担当課に確認し、今後の再発防止策について慎重に協議した。協議後、産業厚生委員会は、市長に対し、①再発防止策の検討・実施状況について議会に報告すること、②文書管理等において監視・モニタリングの強化をすること、③責任の所在を明確にし、職責に応じた責任の取り方について年度末までに報告することを要請し、調査報告とした。

# 「馬毛島への米軍空母艦載機離発着訓練（FCLP）及び自衛隊施設設置に関する防衛省による住民説明会の早期開催を求める」陳情書 不採択

## 陳情

「馬毛島への米軍空母艦載機離発着訓練（FCLP）及び自衛隊施設設置に関する防衛省による住民説明会の早期開催を求める」陳情書

本陳情書は、種子島漁業協同組合組合長、西之表市商工会会長、種子屋久農業協同組合組合長、種子島建設業協同組合組合長、西之表市きび・甘藷生産振興会会長、及び鹿児島県自動車振興組合支部長の6名から提出されたもので、地元住民に対する説明会の早期開催を国・防衛省に対して要望する旨の陳情である。

本陳情書が付託された馬毛島特別委員会において、これまで2回にわたって審査が行われた。

第2回定例会では、市民にとって重要であるとの陳情書の主旨に照らし、陳情内容を十分に、なおかつ慎重に審査すべきであるとの意見から継続審査となった。

第3回定例会では、陳情者2名に出席いただき、直接提出理由等をうかがい、このことを踏まえて、防衛省への所管事務調査を行う必要があるとし、再度継続審査とした。

12月11日に開催された今定例会での委員会において、市民の代表者からの陳情は重たく、正確な情報を求めることを議会がやめるべきではない。また、防衛省以外にFCLP訓練や自衛隊設置計画について十分な説明が出来る立場のところはないなど、本陳情を採択すべきとの意見が出された一方、先の所管事務調査において、防衛省は、現段階において2011年に地元で説明した以上の情報は持ち合わせておらず、しかるべき時に住民への説明が開催される見解である

ことが示されたことや、過去において個人や団体から防衛省への説明を求め、実際説明会が開催されていること。また、市長部局や議会から市民への情報提供を行っていないわけではないとの意見が出され、慎重審査の結果、賛成少数で「不採択」となった。

12月13日の本会議においても同様に賛成少数で「不採択」となった。



## 議長会務報告

### 10月

- 第9回種子島ふるさと交流大会
- 令和元年第2回熊毛地区消防組合議会定例会
- 令和元年第2回種子島産婦人科医院組合議会定例会
- 令和元年第2回種子島地区広域事務組合議会定例会

- 小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会鹿児島県知事等要望活動
- 令和元年度鹿児島県市議会議長会政務調査
- 第46回堺まつり
- 第47回熊毛ブロック老人スポーツ大会

### 11月

- 鹿児島県市議会議長会臨時会総会
- 小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会中央省庁要望活動
- 種子島北部九州会
- 種子島屋久島議員大会県選出国会議員要望活動
- 第38回離島振興市町村議会議長会全国大会
- 第48回西之表市駅伝競走大会
- 令和元年度第2回組合議会定例会
- 西之表市認定農業者連絡協議会
- 熊毛地区植樹祭

### 12月

- 山本防衛副大臣との会談
- 熊毛地区駅伝合同結団式
- 令和元年度中種子と畜場運営協議会及び畜魂祭



# 委員会審査報告

議案は、各委員会に付託され、慎重に審査されます。(名称等は一部簡略化しています。)

## 予算特別委員会

### 【委員構成】

※議長を除く全15名の議員で構成

委員長 小倉 初男  
副委員長 河本 幸男

### 予算

#### ○令和元年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,247万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を108億8,245万1千円とした。

地方債補正は、辺地債ならびに過疎債の変更2件で、辺地債は、事業間調整を行ったことや事業費確定に伴い限度額を40万円減額し、過疎債は、市内小学校空調整備事業の事業費確定に伴い限度額を30万円減額とした。

### 歳入

#### 【主なもの】

##### ■国庫支出金

障害者自立支援給付事業等の事業費増額と児童扶養手当制度改定により増額。

##### ■県支出金

各事業費の確定に伴う増減により、農林水産業費県補助金を減額。

##### ■諸収入

全国市有物件災害共済会等共済金及び返戻金と種子島地区広域事務組合精算返納金ならびに熊毛地区消防組合負担金の返納金による増額。

### 歳出

#### 【主なもの】

##### ■総務費

財政調整基金に積立てを予定していた予算の中から今補正予算の財源として充てるため減額。

来年開催される東京オリンピックパラリンピックの聖火リレーのルートに選定されたことによる地元開催負担金と種子島幹線バス路線の維持・確保に係る経費について、島内1市2町で補助の決定をしたことにより補助金を計上。

##### ■民生費

障害者自立支援に関する各種サービスにおいて利用者の増加や単位数の増などにより社会福祉費を増額。

児童扶養手当法の一部改正に伴う支払回数調整による増額。

##### ■農林水産業費

川迎ハウスの解体工事、新規事業のさとうきび持続的生産支援対策事業の補助金、工事請負費等を計上。

##### ■教育費

教員住宅管理費に、令和2年度親子留学準備のため修繕料を計上。

○令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

○令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

○令和元年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)

○令和元年度水道事業会計補正予算(第3号)

全会一致で可決

○令和元年度一般会計補正予算(第4号)

○令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

○令和元年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

○令和元年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第4号)

○令和元年度水道事業会計補正予算(第4号)

2019年の人事院勧告をもとにした、議案第41号「西之表市職員の給与に関する条例及び西之表市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例」に基づく給与改定に伴う人件費の補正予算。

一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を108億8,248万8千円とした。

賛成多数で可決

全会一致で可決

# 総務文教委員会

## 【委員構成】

委員長 河本 幸男  
副委員長 和田 香穂里  
委員 下川 和博  
永田 章  
木原 幸四  
川村 孝則  
田添 辰郎  
渡辺 道大

## 条例

○西之表市議会議員及び西之表市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

公職選挙法の一部改正に伴い、選挙運動用ビラの公費負担を議会議員選挙に適用できるように条例の一部を改正するもの。

全会一致で可決

○西之表市青少年の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

本市青少年の家の老朽化に伴い安全性が確保できていないと判断し、同施設を廃止するため、条例を制定しようとするもの。同施設は、既に解体されており、解体に係る予算提案と廃止条例提案の

時期が異なっている。今後このようなことが発生しないように要望するとの意見の一致をみたが、原案のとおり可決。

全会一致で可決

○西之表市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

成年被後見人等の権利の制限措置の適正化を図る関係法律の整備に伴い、条例条文中「成年被後見人」を「意思能力を有しないもの」に改めるもの。

全会一致で可決

○西之表市職員の給与に関する条例及び西之表市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告を踏まえ今年度影響のある職員の給料表及び期末勤勉手当の支給率の改定を行うため、関係条例の一部を改正するもの。予算影響額は、約600万円。市民の給与水準との説明責任が果たせないとの意見もあったが、原案のとおり可決。

賛成多数で可決

○西之表市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について

全会一致で可決

# 産業厚生委員会

## 【委員構成】

委員長 生田 直弘  
副委員長 竹下 秀樹  
委員 小倉 初男  
鮫島 市憲  
中野 周  
橋口 好文  
長野 広美  
橋口 美幸

## 条例

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正されたことに加えて、関係政令等が公布されたため、当該条例の改正を行うもの。なお、現在、本市において、当該災害擁護資金の貸付ならびに、償還未済額はないとのことであった。

全会一致で可決

○西之表市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行により、消費税率の引き上げによる財源を活用し、幼児教育・保育の無償化の観点から、市町村

の確認を受けた施設等の利用に関し、新たな給付制度を創設する等の措置を講ずる改正があったため、当該条例の改正をしようとするもの。

賛成多数で可決

○西之表市給水条例の一部を改正する条例の制定について

水道法の一部改正により、指定給水装置工事事業者の指定については、5年ごとの更新制が導入されることとなり、更新に係る手数料を定めるため、当該条例の一部を改正しようとするもの。なお、本市における更新の対象となる指定業者は現在50事業者で、うち令和2年に更新期限を迎えるのは、27事業者である。

全会一致で可決

○西之表市水道事業審議会条例の制定について

西之表市水道事業の運営及び経営等に関する重要事項を審議する機関を設置するため、条例を制定しようとするもの。この審議会は、来年度、水道ビジョン・経営戦略を策定することを見据えて、今後の水道事業運営及び水道料金の改定を含めた経営等に関する重要事項を審議することを目的に設置される機関であるとのことであった。

全会一致で可決

# 一般質問

## 市政を問う

市民の声を  
市政に



令和元年第4回定例会において、12月2日、3日、市政に対する一般質問が行われた。8名の議員が一般質問を行い、市民のための市政運営が進められているか議論が交わされた。  
(主な質問内容については以下のとおり。)

《質問順と掲載ページはこちら》

- 1 生田 直弘 議員・・・P 6
- 2 和田 香穂里 議員・・・P 6
- 3 河本 幸男 議員・・・P 7
- 4 橋口 好文 議員・・・P 7
- 5 長野 広美 議員・・・P 7
- 6 渡辺 道大 議員・・・P 7・8
- 7 橋口 美幸 議員・・・P 8
- 8 田添 辰郎 議員・・・P 8



生田 直弘 議員

**夕暉が丘の利活用と周辺環境の整備について**

**問** 夕暉が丘は、経済観光上も平和教育上も素晴らしい重要な地域資源と考えるが、見解を問う。

**答** 戦艦大和の歴史的事実と共に本市の絶景スポットとして魅力を島内外に発信していきたい。(経済観光課)

**答** 種子島の美しさと平和の尊さを感じさせてくれる場所であり、学校に周知し活用を促したい。  
(学校教育課)

**問** 道の舗装が不十分でアクセスが芳しくないため整備を要望する。  
**答** 観光資源として活かせるよう道路については整備する方向で前向きに検討する。  
(市長)

**問** 幼児教育・保育の無償化制度下の課題と副食費が免除にならない子どもたちへの支援について

**問** 子育てしやすい環境作りのため副食費の免除を要望してきたが、検討状況の報告を求める。

**答** 令和二年度の予算化に向けて積極的な支援を検討する。  
(市長)

**情報通信技術（ICT）を使った遠隔地教育と人材育成について**

**問** 離島や複式学級であることの負担軽減を図るため、提案や要望してきたICT活用に係る進捗と検討状況の報告を求める。

**答** 鹿児島大学の協力の下、来年度、全ての小学校においてテレビ会議システムを導入し、市内や他県の学校との交流を実施するとともに、タブレット型端末を市内全校に整備し、ICT機器を活用した授業を行う。  
(学校教育課)

**その他の質問**  
「ととうきび生産振興における課題と土づくりについて」



和田 香穂里 議員

**馬毛島に係る防衛省の説明を前提に、市長の見解、姿勢を問う**

**問** 市長の目指すまちづくりや市民の暮らしのあり方と、馬毛島・自衛隊・米軍FCLPとの関係について、市長の目指すまちづくりや市民の暮らしのあり方とはどういうものであるか。

**答** 市民が本市に住んで良かった、今後

も住み続けたいと思えるようなまちづくりを目指し、長期振興計画や各種計画に基づいて、住民や議会のご意見を賜りながら市政運営をしていく。  
(市長)

**問** その実現には馬毛島の軍事施設、自衛隊施設や演習、FCLP等が必要か。それらは共存できると考えるか。

**答** 長期振興計画や各種計画に、馬毛島におけるFCLP施設に関連する振興策は掲げていない。  
(市長)

**図書館の現況と今後のあり方について**

**問** 市立図書館の児童書コーナーや企画は充実しているが、今後、図書館の果たす子育て支援の役割をどのように考えているのか。

**答** 育児や子育て関連の蔵書の整備で役立てていく。ブックスタート、親子読書会、出張お話し会などで、親子で読書に親しむ機会の提供に努めている。  
(社会教育課)





河本 幸男 議員

### 荒廃農地の活用について

**問** 農家の高齢化や後継者不足により

荒れていく荒廃農地に将来的に産業に繋がる樹木を市が選定し植栽を図るべきではないか。

**答** 荒廃農地に有効な樹木を植えるこ

とは、将来的に大切なことだと考える。今後、適正な樹木を選定していきたい。(農林水産課)

**答** 荒廃農地の利用について、クヌギ

やツバキ等今後の産業に繋がるような樹木の選定について研究していきたい。(市長)

### 観光の振興について

**問** 島外からの観光客を増やすことは、

種子島の経済に与える影響は大きい。大型客船、修学旅行の誘致、グリーンツーリズム受け入れ家庭の確保など対策を講じるべきではないか。

**答** 大型客船、修学旅行の誘致を図る

とともに、民泊受け入れ家庭の確保に積極的に取り組んでいきたい。(経済観光課)

**答** 観光客に対し、有人国境離島法交

付金を活用した企画乗船券での助成が1月から開始される。飛行機にも適用できるように努力し、観光客の増加を図りたい。(市長)



橋口 好文 議員

### 畜産振興について

**問** 第3回定例会において、畜産セン

ターの牛の繋留場(建屋)の更新と共進会審査場の屋根設置及び駐車場の拡張整備を要望していたが、その後の経過を問う。

**答** 令和2年度に、屋根付き審査場の

整備及び繋留場の改修工事実施を目指し協議を進めていたが、まずは、老朽化の著しい牛の繋ぎ場の補修を令和2年度に行い、屋根付き審査場の整備については、令和3年度以降に実施していく予定である。駐車場の拡張整備については、拡張可能な敷地が少ないことから予定はない。(農林水産課)

**その他の質問**

「農業振興について」「シカのジビエについて」「財産管理について」「都市公園の管理について」「馬毛島問題について」



長野 広美 議員

### 職員の旅費規程の在り方について

**問** 現在、職員への出張旅費について、

実例として、鹿児島出張の場合、船賃は、実額で支給し、宿泊費は、1日9,800円、車賃は、1日2,000円、日当は、1日2,200円、定額で支給されており、領収書の添付はされていない。国の位置づけでは、旅費規程における金額が上限であり、基本的には、社会通念上最も経済的な交通機関や宿泊施設を選定すべきである。本市職員の旅費の実額と支給額に、大きく差が見られるのではないか。職員の旅費規程を再度見直すべきだと考える。また、旅費を支給する際には、厳しく領収書を要求すべきではないか。

**答** 本市は、国の旅費に関する法律を基

準に、職員旅費規程を定めて、それに従い旅費を支給している。車賃などを定額支給にしている理由については、時間の関係上タクシー等を使わざるを得ない場合に対応するためである。また、領収書の添付については、高速船や飛行機など実額支給分について

は、添付を義務付けている。

(総務課)

**その他の質問**

「体育館施設の安全管理について」「行財政改革の取り組みについて」「第6次長期振興計画について」「地域支援の充実に向けて」



渡辺 道大 議員

### 馬毛島問題について

**問** 馬毛島への施設建設について、市

民の中には、賛成、反対、どちらの意見もあるが、市長は、そのことで市民の中に分断が生じてはならないと答えている。どのような点に對立や分断を感じているのか。

**答** 馬毛島の共有地をめぐって地域

コミュニティが分断され、住民の対立があらわになり、地域の伝統行事が長年途絶えている集落がある。決して起きてはならないことと考える。社会問題は賛否が分かるものであるが、現状はもう少し議論が必要と考える。

**問** 土地の売買交渉については、国と

地権者との間で行われているが、前市長は「反対」を明確にしていた。

市長も同様に「反対」の立場を示すべきではないか。

**答** 前市長の考えと共通、共感するところがあり、大きく考え方が異なっているとは思っていない。賛否の前に、馬毛島がどのような島なのかを市民全体で考えていくことが大事である。  
(市長)

**その他の質問**

「子ども医療費窓口無料化について」「農業資材の補助について」「市が管理する大字の住宅活用について」



橋口 美幸 議員

**馬毛島問題について市長の姿勢を問う**

**問** 政府がFCLP訓練の移転候補地としている馬毛島について、約160億円で用地買収することで地権者と合意したという報道があった。しかし、地元住民は納得していない。自然豊かな馬毛島を違法に伐採した疑いがあるにもかかわらず、調査せず放置し、土地の抵当権抹消のために私たちの税金が使われ、民間の会社の穴埋めに税金を充てる。

このような無法は到底許されない。また、報道では、馬毛島での訓練は、FCLP訓練だけでなく、世界で事故が多発しているオスプレイやレールにも確認されない攻撃性の戦闘機であるステルス戦闘機の訓練も予定していると言及している。このことについて市長はどう対峙しようとしているのか。米軍が我が物顔で訓練できる基地建設を許さない市長の毅然とした態度を示してほしい。

**答** F35ステルス戦闘機の離着陸訓練のことだと思うが、本市としては、防衛省の説明もないことから、その内容については不明である。ただ、関係資料によると、防衛省から馬毛島において離島侵攻を対象とする訓練を行う旨が説明されており、そのほかさまざまな訓練が馬毛島において実施されるのではないかと想定されている。  
(市長)

**問** 次の市長選に出馬をするのか伺いたい。出馬をするとしたら、馬毛島軍事施設絶対反対の公約についてどうするかも含めて問う。

**答** 立候補するかどうかについては、適切な時期に私の考えを御説明したいと考えている。また、公約については、馬毛島に対する考えとしては、前回の選挙時から一貫して変わっていない。  
(市長)

**その他の質問**

「子育て支援策の充実に向けて」「社会教育施設の改善計画を問う」「どんがタクシー、市街地巡回バスの利用改善に向けて」「スクールバスの現況を問う」「犬、猫の苦情状況について問う」



田添 辰郎 議員

**馬毛島の自衛隊施設とFCLP訓練に関連して**

**問** 馬毛島の問題が実施された場合、協力しない西之表市にペナルティとして、本来の恩恵は著しく阻害されるという声が多く聞かれる。騒音というデメリットもゼロとは言いが切れないが、再編交付金という大きなメリットもある。今までどおり引き延ばすだけなのか、どうなのか。ペナルティがあった場合の責任はどうとるつもりなのか。

**答** 交付金とそれからペナルティということであるが、そういうものは、どこから出ているものか、防衛省のほうからそういう言葉は、出ていない。議員のほうで御承知であるのであれば、その根拠とともに示し

ていただきたい。ふるさとを愛し、国を思う気持ちは貴議員、それから国防にあたる自衛官の将官、隊員、職員にも一歩も劣るものではない。先祖と先輩諸氏から受け継いだ歴史あるふるさと、島の将来を担う若者、未来の子孫に対して、自然文化を豊かに、そして人情味あふれる地域として守り伝えるために一身を賭していく覚悟である。  
(市長)

**問** 市長の考え方は聞いたが、私を信じていることができない。

(この問いに対しての答弁はありませんでした。)

**その他の質問**

「長寿健康社会を目指して」「市長・教育長の歴史認識について」





# 議 決 結 果 一 覧

議案名	関連ページ	議 員 名														議決結果		
		下川和博	小倉初男	竹下秀樹	木原幸四	川村孝則	和田香穂里	河本幸男	鮫島市憲	中野周	田添辰郎	生田直弘	橋口好文	長野広美	渡辺道大		橋口美幸	永田章
議案第28号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	2	無記名投票（有効投票数14）														同意 (賛14否0)		
議案第29号 西之表市議会議員及び西之表市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第30号 西之表市青少年の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛15否0)
議案第31号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第32号 西之表市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	●	●	-	原案可決 (賛11否3)
議案第33号 西之表市給水条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第34号 西之表市水道事業審議会条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第35号 令和元年度西之表市一般会計補正予算（第3号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第36号 令和元年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第37号 令和元年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第3号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第38号 令和元年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第39号 令和元年度西之表市水道事業会計補正予算（第3号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第40号 西之表市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
議案第41号 西之表市職員の給与に関する条例及び西之表市一般職員の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	●	●	○	○	-	原案可決 (賛10否4)
議案第42号 令和元年度西之表市一般会計補正予算（第4号）	2・4	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	●	●	○	○	-	原案可決 (賛10否4)
議案第43号 令和元年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	2・4	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	●	●	○	○	-	原案可決 (賛10否4)
議案第44号 令和元年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第4号）	2・4	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	●	●	○	○	-	原案可決 (賛10否4)
議案第45号 令和元年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第4号）	2・4	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	●	●	○	○	-	原案可決 (賛10否4)
議案第46号 令和元年度西之表市水道事業会計補正予算（第4号）	2・4	○	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	●	●	○	○	-	原案可決 (賛10否4)
議案第47号 西之表市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について	2・5	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	原案可決 (賛14否0)
陳情第14号 「馬毛島への米軍空母艦載機離発着訓練（FCLP）及び自衛隊施設設置に関する防衛省による住民説明会の早期開催を求める」陳情書	2・3	○	●	○	●	●	●	○	●	-	○	●	●	●	●	●	-	不採択 (賛4否10)

※永田章議員は、議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

※中野周議員は、欠席のため、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

○は賛成、●は反対。

# 産業厚生委員会所管事務調査報告

委員長 生田 直弘

本委員会は、令和元年10月8日から10日にかけて東京都台東区浅草のまるごとにつぼん館、茨城県水戸市の茨城県庁、茨城県行方市のなめがたしおさい農業協同組合、茨城県鹿嶋市の茨城県栽培漁業協会、計4か所を訪問し、所管事務調査を実施した。

## まるごとにつぼん館

### 「本市のアンテナショップ事業の展開について」

東京都台東区浅草のまるごとにつぼん館において、「本市のアンテナショップ事業の展開について」主に、①本市ブースの展示及び活用状況、②他市町村のブース活用状況及び顧客層や動向の調査、③特産品の販売拡大や企画、ふるさと納税の推進につながる情報発信の有効性の検証の3点について調査を行った。本市は、今年度よりまるごとにつぼん館内に展示ブースを設け、特産品の出品を開始した。主な実績については、フロア内に出品している13市町村の全品目の中で、今年度上半期の売り上げ総数上位15位の中に、本市の特産品が2つランクインしたとのことであった。



▲まるごとにつぼん館  
西之表市展示ブース

## 茨城県庁

### 「宇宙関連企業の研究機関や企業誘致について」

茨城県水戸市の茨城県庁においては、市行政当局が推進している「宇宙関連企業の研究機関や企業誘致について」主に、①いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクトの取り組み、②宇宙ビジネス創造拠点の事業内容、③農林水産業の活性化への応用の3点について調査を行った。

宇宙というキーワードでブランド化していく手法や光学衛星データをを用いた甘藷の地下塊根部のデンプン含量を推計するAIモデルの開発などに注力しているベンチャー法人が、茨城県の当該宇宙ビジネス支援事業に手を挙げていること等、宇宙産業関連技術と本市の基幹産業である第一次産業への応用について有意義な情報を得ることができた。

### JANAなめがたしおさい

### 「安納芋のブランド化・六次産業化による地域振興策」

茨城県行方市のなめがたしおさい農業協同組合（以下JANAなめがた）において、まず、生産者の所得向上を目指すための戦略と手法について調査を行った。JANAなめがたの年間販売額は約105億円で、約60品目の野菜を生産し、16品目が1億円以上を売り上げている。その中でも甘藷の売り上げは、三品種でリレーさせる周年出荷体制を実現

し、35億円規模とのことであった。

JANAの基本哲学に「生産者の所得向上最優先」を掲げ、サツマイモの価格低迷の打開策として「焼き芋戦略」を打ち出したとのことであった。

主な戦略は、①「製品」を「青果物としてのサツマイモではなく焼き芋を売る」と考えること、②「価格の設定」がやや高めでも引き売りの石焼き芋より安ければ売れる」と捉えること、③「販売チャンネル」を「スーパー店舗内での焼き芋販売」に設定すること、④「販売促進」を「店舗内に焼き芋専用オーブンを設置し、誰が焼いても美味しく焼けるマニュアルを整備」することである。また、本市に対し、最終消費価格の調査を勘案すると、JANAなめがたは農家の手取りが高いのに対し、種子島の安納芋は中間マージンが高すぎて生産者の手取りが少ないとのアドバイスもいただいた。

## 茨城県栽培漁業協会

### 「種子島の地域水産業の振興のために養殖とは異なる栽培漁業の取り組み方について」

茨城県鹿嶋市の茨城県栽培漁業協会においては、「種子島の地域水産業の振興のために養殖とは異なる栽培漁業の取り組み方について」主に、①藻場の造成、農地用水等の流入による濁りや海水温上昇の影響、アワビの栽培漁業、および鹿島灘はまぐりの稚貝放流の進め方と施設の見学、②トコブシ（ながらめ）等の漁業支援策や新規就業者支援策の2点について調査を行った。

# 議会運営委員会所管事務調査報告

委員長 下川 和博

本委員会は、令和元年10月29日から31日にかけて、委員7名と副議長、事務局職員2名の10名で、熊本県玉名市と鹿児島県霧島市、日置市において、本会議場システムと会派制度について調査を行った。

調査を行うことに至った経緯は、本市議事堂の映像音響設備は、カメラやマイク、周辺機器等の老朽化に伴い、最近不具合が生じている。

また、県下で唯一、インターネットによる議会放映の生中継もしくは、録画放映を行っていないのは、本市のみとなっている。

会派制度については、本市は、導入をしておらず、政務調査に制約が生じている状況である。議員としての見識を広げるといふ観点から今回調査を行った。

## 玉名市議会

### 「本会議場システムについて」

玉名市議会では、平成27年の新庁舎建設に伴い、マイク・カメラ・中継用テロップがデジタル化され、一般質問残時間表示用小型モニター3台を議長席・演台・質問者席にそれぞれ設置し、電子表決システムを導入している。(ただし、電子表決システムは現在使用しておらず、起立採決で行っている。)また、議場内には、55型のモニターが2台、42型のモニターが1台設置され、議席・執行部席・傍聴者席から見える位置に設置され、インターネット中継については、本会議を生中継と録画、委員会は生中継のみ行っており、ケーブルテレビは、本会議・委員会ともに、生中継と再放送を1回ずつ放映している。

### 「会派制度について」

会派制度については、玉名市議会基本条例の規定に基づき、玉名市議会会派規程を設け、必要な事項を定めているとのことであった。議長に対し届け出のあった3人以上の議員で構成される団体が会派となり、代表者1名を選出しており、各会派の代表者と議長、副議長で代表者が組織され、会派に所属しない議員は、代表者1人を選出し、その代表者は代表者会にオブザーバーとして参加している。現在は、会派4、無会派1とのことであった。

## 霧島市議会

### 「本会議場システムについて」

本会議場システム改修の背景は、機器設置から15年が経過したことによる老朽化で、補修の際の部品の欠品や機器の不調、合併後の情報格差が主な要因とのことである。

改修によって、音響・映像機器一式のデジタル対応への交換、書画カメラ・タブレット端末等が導入され、その結果、各総合支所に生中継の視聴が可能となった。また、一般質問時にタブレットや書画カメラで資料を共有でき、わかりやすい説明が可能となり、議論が深まった。さらに、音響が良くなり、傍聴者にも聞こえやすくなった等の改善点が見られたとのことであった。

一方でタブレットに不具合が生じた場合、議会運営に支障をきたすことや、タブレットの操作において年配議員は戸惑うことがあるとの課題もあった。また、インターネット中継については、本会議のみ業者委託とYOUT

ubeの2段階構えで行っており、今年度からパソコン・携帯電話・タブレットでも視聴ができるようになったとのことである。

### 「会派制度について」

合併後に会派制度が引かれ、現在6つの会派があり、2人以上で構成することと定められている。また、議長は慣例で会派からは離脱している。会派代表者会議は存在しないものの、会派でそれぞれ規約をつくり、活動している。メリットとしては、会派で様々な協議ができ、判断も出来ることとあり、デメリットについては、現時点では見当たらないということであった。

## 日置市議会

### 「本会議場システムについて」

日置市議会の本会議場システムは令和元年6月議会から運用している。九州管内では最も新しいシステムであり、国内メーカー製有線方式のフルデジタル会議マイクシステムや電子決済、65型の場内表示用モニター等を導入している。インターネット中継については、外部委託し、携帯電話やタブレットでも視聴が可能であるとのことであった。

### まとめ

新しい本会議場システムを導入する際は、リアルタイムでの本会議の配信を行うとともに、電子決裁、タブレット導入も検討する価値がある。

会派制度については、議員数や予算面から厳しいかもしれないが、議員の見識を広めるためにも、今後議論を重ねていきたい。

# 議会報告会及び意見交換会

令和元年11月8日、12月18日に2班体制で、市内4校区において議会報告会及び意見交換会を開催いたしました。合計47人の方に参加していただき、活発な意見交換を行うことができました。紙面の都合上、全てのご意見、ご質問を掲載することはできませんが、皆さんの思いをしっかりと受けとめ今後の活動や一般質問等に生かしていきたいと思っております。※詳しくは、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

## 開催状況

開催日	校区名	説明班	参加者数
11月8日(金)	安納校区	1班	15人
11月8日(金)	古田校区	2班	13人
12月18日(水)	立山校区	1班	6人
12月18日(水)	現和校区	2班	13人
合計			47人

## 班体制

1班	2班
下川 和博(班長)	木原 幸四(班長)
永田 章	小倉 初男
河本 幸男	和田 香穂里
竹下 秀樹	生田 直弘
鮫島 市憲	長野 広美
橋口 美幸	渡辺 道大
川村 孝則	中野 周
橋口 好文	田添 辰郎

## 質疑・回答

### 安納校区

**問** 議員年金の復活を求める動きがあり、国会で議論されているようですが、本市議会はどうか考えているのか。

**答** 鹿児島県下19市のうち、14市が議員年金復活の要望書を提出している。残りの5市においては、掛金の半分は行政が負担するため、行財政改革に逆行する等の理由で提出していないと聞いている。ただ、今回の

議員年金の復活の動きに関しては、全国的に議員のなり手が減少していることを踏まえ、将来の保障がない現況も要因であるとするならば、その対応策でもあると考える。本市議会としては、その趣旨に同意し、議員年金復活についての要望書を提出している。

**問** 小学校の統廃合について、持続可能な活力ある校区を維持するうえで、学校は地域に不可欠なものである。しかし、生徒数の減少をみると、一区民としてその存続を危惧している。議会は学校の統廃合についてどのように考えているのか。

**答** 本市の長期振興計画においても、小学校の統廃合については検討していくこととしている。本市の教育委員会においても、過去に学校の統廃合に関し、視察を行っているが、統廃合を実施した地域においては、保護者の意向が重視されている。学校が地域の活力維持に必要であることは、議会も認識しているが、教育的観点から、より多くの児童と交流できる学校規模が教育環境として望ましいという保護者の声が多くなれば、一定の学校規模になった段階で検討していく可能性はある。

### 古田校区

**問** 降灰対策(お茶)について。口永良部島の灰の被害が起きたら、市はどう対応するのか。区域外は補助申請もできない。メーカーが掃除をする機械を持っているので、被害があったときのために、メーカーと提携や協定が締結できていければ、心強い。被害を受けたときの対策や対応を考えてほしい。

**答** 以前、対象地域に組み入れることを求める請願書が出されたときに、採択されたが、風評被害についての意見も出た。実際測定器をつけたが、値が0であったということも聞いている。現在、県内の降灰については、厳しい状況であり、緊急時の対応については、今後議論していく。



▲安納校区

**問** 種子島中学校の送迎が危ない。場所の確保をしてほしい。弓道場が撤去されたので、その跡地に駐車場は作れないか。下西小学校前も混雑しているので何らかの改善策をたててほしい。

**答** 地域性からも車での送迎は多い。今までそういう視点で通学路の検証をしていない。総務文教委員会でも取り上げていきたい。

**問** 北部観光について力を入れていくが、今後も予算をつけて整備していくのか。へゴの道にベンチや駐車場の整備ができないか。

**答** 県の事業で浦田海水浴場（工事中）とへゴの駐車場の整備を予定している。

## 立山校区

**問** 現在、シルバー人材センターが市の委託を受け、休校になった学校の草刈り等を年2回行っているが、管理が行き届いていない現状にある。集落が、市から管理受託すれば、必要に応じてタイムリーに管理作業ができ、地域の実情に応じた施設の有効活用が図られると考えるが、集落での管理受託は可能か。

**答** 休校施設の管理作業については、本来は、校区と契約するが、立山校

区の場合、区長が不在のため、現状シルバー人材センターへの受託になっていると思われる。校区あるいは集落が受託を受け、現況よりきめ細かい管理作業が出来れば、むしろ市にとっても望ましいことと考える。次年度からその体制がとれないか所管課に伝えるが、地元からも再度市に対して要望してほしい。

**問** 現在、教職員住宅が空き屋のままの状態で老朽化している。一般利用が可能になれば校区の住民増にも寄与すると考えるが、検討できないか。

**答** 廃校であれば教職員住宅から市営住宅に移管できるが、立山小学校は、休校の状態にあるため現状では移管は難しい。現状のまま休校がいいのか、廃校にして利活用した方がいいのか、地元の意向が尊重されるので、住宅の件も含め、校区内での総意形成に向けての意見交換の機会も必要かと思う。

**問** 議員は、視察や研修等を通じ日々研鑽を積んでいると思うが、その内容は、どのように市民に報告されるのか。

**答** 議会内に構成される各委員会ですら、必ず本会議で報告し「議会議だより」でも周知を図っている。議会

報告会も周知を図る場であると位置づけている。また、見聞した先進地事例等は、市政に反映すべく議員個々で政策提言につなげている。

## 現和校区

**問** 種子島高校へ行く嘉永山公園の坂道は、見通しが悪く、非常に危険なので防犯灯や街路灯を増やしてほしい。

**答** 現状は認識している。電気料金の負担等、財政的な問題も検討の上、所管課に対応を求めていく。

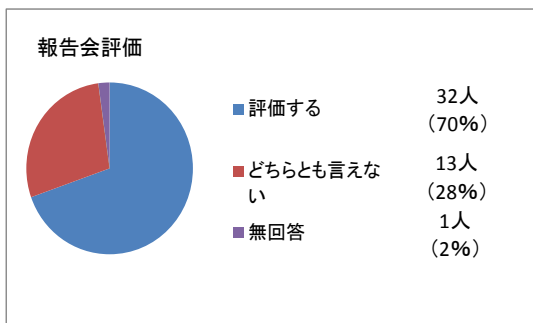
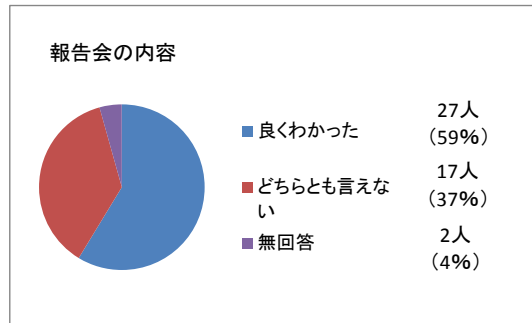
**問** 西俣、田之脇の工事は、どのような工程、計画なのか。

**答** 用地取得等の問題もあり、長引いているようだが、原因や予算、時期など所管課に確認する。

**問** 地域活性化交付金の在り方について、市街地と大字の格差の解消を目指していかないと大字が今まで以上に衰退する。現和は、世帯数が、620戸から558戸へ減少し、自治会費や校区費が年々減少している。その分を若年層が負担している現状であり、負担する年齢も引き上げて対応している。このことが、若い人の大字地域離れに結びついている。このような現状も踏まえ、活性化交付金を「公平性の観点」から見直してほしい。

**答** 大字の事情を理解したうえで、今後議会でもそのあり方を検討し、所管課に対しても検討するよう要望していく。

## ◆主なアンケート結果◆



### 《参加者の声》

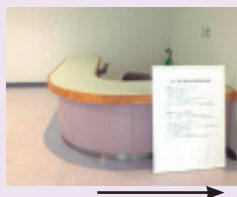
- ・すごく良かった。議員の方も頑張ってください。ありがとうございます。
- ・とてもいい機会。こまめにコミュニケーションを取るべきだと思う。
- ・大字の活性化、住宅問題を解決してほしい。
- ・種子島・西之表市の活性化について更なる努力をしてほしい。

## 議会を傍聴してみませんか？

市議会の定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催され、次回は2月18日開会の予定です。

傍聴者受付簿に住所、氏名、年齢を記入するだけで傍聴できますので、どうぞお越しください。

※総合窓口に向かって右側のエレベーター（若しくは総合窓口左の「西之表市議会」看板のある階段）で3階傍聴席へお越しください。



## 次回定例会会期日程予定

2月	10日	定例会招集告示
	18日	開会、本会議
	19日	産業厚生委員会
	20日	総務文教委員会
	25・26日	予算特別委員会
	27日	一般質問通告締め切り
	28日	請願・陳情締め切り
3月	4日	本会議
	5・6・9日	本会議(一般質問)
	10日	総務文教委員会
	11日	産業厚生委員会
	13・16・17日	予算特別委員会
	23日	各特別委員会
	25日	閉会、最終本会議

## 議会報編集委員会

いろいろなご意見を  
お聞かせください！

日々、試行錯誤しながら、皆様が読みたくなるような「議会だより」の作成や市議会ホームページでの最新情報の提供に努めております。今後ともご指導・鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

### ◆お知らせ◆

#### ○議会テレビ放映について

西之表市議会では、西之表テレビ共聴組合、株式会社河崎電化サービスより、ケーブルテレビにて議会放映を行っています。日程については、ホームページに掲載していますのでご確認ください。

#### ○ホームページの閲覧について

議会のしくみや議会日程などが確認できますので、一度ご覧ください。議会の情報は、市のホームページにアクセスすると左下に「西之表市議会」とありますので、そちらをクリックしてください。

もしくは、左のQRコードからもスマートフォン等で読み取り閲覧できますので、ぜひご覧ください。(議会のしくみ・議員名簿・議事録・議会の日程・一般質問通告書・審議結果・会議録について掲載しています。)



西之表市議会

## 編集後記

西暦表記か年号表記かと気をもんだ猪の年もあつという間に過ぎ、干支の順番で最初のネズミ年、オリンピックイヤーがスタートしました。今年もまた何か嬉しいことが起こりそうな期待が膨らみます。

今回の市議会だよりは、12月議会の内容を中心に新年号としてお届けします。議案12件、追加議案8件、陳情1件、一般質問者は8名でした。補正予算では東京オリンピックパラリンピックの聖火リレーのルートに本市が選定され地元負担金等も計上されておりあります。桜のトーチを掲げ聖火を運ぶ様子を想像するだけで胸がわくわくします。聖火ランナーに内定された方は市の代表として頑張ってください。

表紙を飾る松の盆栽は国上の方からお借りしました。松は真冬でも青々とした葉を茂らせ大変縁起のいい植物と言われています。有難うございます。

(初男)

1月25日発行の「議会だより120号(特別号)」3頁上段13行目「小田原」は、「三沢」、3頁上段17行目「岩国」は、「厚木」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

発行／西之表市議会 編集／議会報編集委員会 発行責任者：西之表市議会 議長 永田 章

〒891-3193 鹿児島県西之表市西之表7612番地

TEL 0997-22-1111(内線351) FAX 0997-22-0295

E-mail: gikai@city.nishinoomote.lg.jp